

教区通信 ふくおか

2024(令和6)年11月1日発行

Vol.144

発行

「御同朋の社会をめざす運動」
福岡教区委員会

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）スローガン

結ぶ絆から、広がるご縁へ

-From tying bonds to great encounters-



▲第44回 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

P 2 戦後79年戦争犠牲者追悼法要 -非戦・平和を願うつどい-

- P 3 第44回 千鳥ヶ淵全戦没者
追悼法要に参加して
- P 4 福岡教区 公聴会
- P 5 第49回 九州地区保育研修
福岡大会

- P 6 「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ
「親鸞聖人報恩講法要」帰敬式について
- P 7 教堂屋外駐車場廃止のお知らせ
法語カレンダー等書籍短期委託業務廃止のお知らせ
- P 8 法話「平等の慈悲は悪人に注がれる」

戦後七十九年戦争犠牲者追悼法要 — 非戦・平和を願うつどい —

時局問題対策協議会会長 木村 真昭（福岡組 妙泉寺）

二〇二四（令和六）年六月十八日に福岡教区「戦後七十九年戦争犠牲者追悼法要、非戦平和を願う念佛者のつどい」が開催され、教区内の門徒、坊守、住職など約百七十名が参拝して、平和な社会を築くための課題を学びました。

追悼法要は教務所長導師のもと各組の代表が結衆となり勤まりました。導

師は「戦争犠牲者の声なき声に耳を澄ませ『国家の武力による威嚇又は武力の行使』を『国際紛争を解決する手段』として、『永久にこれを放棄する』意志を再確認し日本国憲法『改正』の動きに対しても強く反対いたします」と表白されました。

記念講演は「戦場にさせないために」

と題して、沖縄への圧倒的な基地押し付けの現状を、何本もの映画を製作して告発してこられた映画監督の三上智恵さんからお聞きしました。自作映画の予告編五本を上映されながら、映像を通して沖縄の民意を無視した全く理不尽な自衛隊の南西諸島への展開を伝えてくださいました。

最後に言わされたのは、「九州のみなさんが、沖縄の怒りに共感してくださいるの



はとても有難いですが、新安保法制が制定されて以降着々と戦時体制が整えられており、みなさんの地元も大変ですよ。大分県ではミサイル等を貯蔵する七棟の弾薬庫が建設されますし、佐賀空港はオスプレイを常駐させる軍事空港化が進められています。福岡市の博多港も本来商業港ですから自衛艦の入港はいちいち福岡市に許可を求めるべきところを、福岡市は自由に入港させる措置をとっていますよ。このようにみなさんの足元が戦時体制になつてることにもつと危機感をもつてください」ということでした。

来年は戦後八十年を迎えるますが、全国各都市への無差別空襲や広島・長崎への原爆投下など被害の面だけでなく、そもそもこの戦争がどのように始まり、中国や朝鮮をはじめとするアジアの人々にどれほど被害をもたらしたのか、充分に理解されているとはいえない。そしてその戦時体制のなかで本願寺教団はどんな役割を果たしたのか。どんな教えが説かれたのか。今まで清算されていない問題を知ることは「世をいとうしるし」として念佛者の責務です。共々に聞法の課題としていきましょう。



第四十四回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に参拝して

大神 賢治（那珂組 西光寺）

九月十八日（水）に東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において「第四十四回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」が行われました。福岡教区からは七名の参加で一泊二日（十七日～十八日）の日程で参加してきました。

初日は、築地本願寺本堂にて、国境なき医師団の中嶋優子医師の講演会（へいわフォーラム）に参加しました。

シリア・パキスタン・イラクでの活動報告にも感動しましたが、独立・中立・公平を実践するためには、活動資金の九割以上が民間からの寄付であること

にさらに深く感動しました。独立・中立・公平は、浄土真宗とお釈迦さまの教えそのものではないでしょうか？

二日目は、午前中に千鳥ヶ淵戦没者墓苑の近くにある靖国神社・遊就館へ拝観しました。同じ国が作つた墓苑と神社ですが、その大きさの差に圧倒されました。神社の鳥居の大きさにも改めて驚きました。靖国神社にある遊就館には、展示施設として近代史を学ぶゾーンがあり、英靈のご遺書やご遺品を展示してありましたが、ほとんどが

武器でした。特に明治維新以後の展示については、戦争を賛美しているように思いました。展示品も見る人によつて感じ方が違うのでしょうか？

午後からは、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて



「第四十四回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」へ参拝しました。作文朗読の後、仏教讃歌斎唱の中、各教区からの代表者の献華が行われ、福岡教区からは原京子さんが献華いたしました。ご法話・平和の鐘が撞かれ、平和宣言の後、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が勤まりました。正信念佛偈（音楽法要）のお勤めがなされ、五十名余の結集と雅楽による演奏とお念佛で響きわたり、厳肅なひと時でした。私個人としては、もう少し柔らかくて心優しい声明でも良いのではないかと感じました。この追悼法要を継続することと、非戦平和への取り組みを確実なものにする必要があると思います。とても有意義な



福岡教区 公聴会

藤 玄洋（上下組 西宗寺）

二〇二四年八月五日（月）、福岡教堂に於いて「公聴会」が開催され出席いたしました。しかし、まさかお盆参りで忙しい時期にならうとは：法中会で出席を呼びかけていただけに残念でした。

当日は、宗派から三好総務、桂寺院活動支援部長のお二人がご出向でした。

内容は賦課基準の見直しにかかる内容であり、まず、桂部長よりそれまでに出された意見に対する説明から始まりました。ただ、事前に決められた時間が十分程度だったようで急ぎ足でしたが時間超過でした。そもそも十分程度で話せる内容ではなかつたと思います。その後の質疑の内容は、概ね法人収入に対する賦課基準そのものに対する反対意見と総局試案の中身に対するものでした。



ゼ門信徒会費は含むのか質問をいたしましたが、話は噛み合わずに時間切れとなりました。終わった後に自分の認識と総局の考えにずれがある事がわかりました。賦課基準見直しにかかる総局試案（賦課基準試案）については、もう少し検討期間が必要だと感じた公聴会でした。



ホームページ・SNSもどうぞご覧ください

ホームページ



You Tube→



LINE→
(ID:100xlzmt)





高原眞見大会名誉会長のもと、私ども保育連盟は第六ブロック（第四十九回九州地区）保育研修福岡大会を八月二十三日（金）～二十四日（土）の両日に渡つてスローガン「親鸞聖人の生き方に学び、まことの保育を広めよう」研修テーマ「思いやり 支え合いとともに育ち合う」大会テーマ「まよいながら ゆれながら ともにそだつ」のもと天神の西鉄ソラリアホテルを会場に三百名近い参加を得て開催しました。



基調講演1では、「ほとけ／アートの力 遊びに生きる・つながりに生きる（大阪パドマ幼稚園）を事例にして」として大阪・浄土宗応典院住職秋田光彦さんに講演をいただき、基調講演2では釈徹宗相愛大学学長より「まことの保育について考えてみましょう」と「園での仏讃の時間には先生も園児も皆同じ方向を向いている」「生活の中で同じ方向を向くことの大切さ」を切り口に講演をいただきました。

その後は秋田、釈両先生に加えて丁度その時期にN H KでT V放送されていた連続ドラマの原作の著者である岸

第四十九回九州地区保育研修福岡大会

福岡教区保育連盟会長 笠 信暁（志摩組 法林寺）

田奈美さんも加わっていただいてのパネルディスカッションが行われました。中では初盆のお座にこられた門徒の方に住職が一方的に法話をしてもらう等マイクを渡して故人の話をしてもらう等の取り組みも紹介されました。

終了後はコロナの影響でしばらく出来

なかつた懇親会を開催し、司会を龍谷大学の同級生僧侶コンビの三千大千世界さんにお任せして、最後は初めてのこ

とでしたが、各教区ごとに記念写真撮影と楽しんでいただきました。翌日は朝の集いの後、「いのちの豊かな響き合いを支える園運営のあり方」

「育ち合う人間関係」のテーマでそれぞれ分科会が開催されました。

お陰様で大会を無事終えることができました。但し「少子化」では無く、既に「少子」時代に入ってしまった日本社会。既に、本願寺保育連盟も加盟園数の減少が起きています。

福岡教区でも同じです。それ以上に幼稚園教諭、保育士の養成機関が減少し、園長などのリーダーを育てる学者、教育者が育つていないこと



本願寺福岡教堂 福岡教区 「親鸞聖人報恩講法要」のお知らせ

◆期日 2025(令和7)年1月26日(日)～28日(火)

◆参拝組

26日(日)	志摩組・御笠組・嘉麻組・東筑組・三門南組・下川東組・那珂組
27日(月)	怡土組・早良組・上下組・夜須組・柳川組・西嘉穂組
28日(火)	福岡組・宗像組・遠賀組・三門北組・八女組・鞍手組・粕屋組

◆時間 午前 7:00 晨朝(27日・28日)
 午前 10:00 帰敬式(28日※事前申込)
 午後 1:30 法要
 午後 2:50 御法話(40分 2席)
 午後 4:30 法要終了

※法要・御法話(1:30～4:30)はYouTubeにてライブ配信いたします。

◆会場 本願寺福岡教堂(福岡市中央区黒門3-2 ☎092-771-9081)

※当教堂は駐車場が少ないので御来堂の際には近隣のコインパーキングをご利用ください。

※交通機関にてお越しの方 地下鉄空港線：「唐人町駅」下車6番出口より徒歩4分
 西鉄バス：「唐人町バス停」「黒門バス停」下車徒歩4分

【法要】	期日	晨朝	法要
	26日(日)		新制御本典作法 第一種
	27日(月)	日没礼讃偈	宗祖讃仰作法 第三種(音楽法要)
	28日(火)	初夜礼讃偈	奉讃大師作法 第一種

◆講師 和田 新吾 師(本願寺派布教使・大分教区岡組蓮光寺)

本願寺福岡教堂 福岡教区 「親鸞聖人報恩講法要」帰敬式について

① 日時 2025(令和7)年1月28日(火) 受付 午前9時00分 開式 午前10時00分

② 会場 本願寺福岡教堂 礼拝堂(福岡市中央区黒門3-2 ☎092-771-9081)

③ 募集人数 100名(定員になり次第締め切ります)

④ 冥加金 成人 10,000円・事務費 5,000円 合計 15,000円
 内願 20,000円・事務費 5,000円 合計 25,000円

未成年 5,000円・事務費 5,000円 合計 10,000円
 内願 15,000円・事務費 5,000円 合計 20,000円

⑤ 申込 帰敬式受式を希望される方は、所属寺ご住職を通して本願寺福岡教堂までお申し込みください。

⑥ 申込期限 12月20日(金)(教堂必着)

(但し、内願法名希望の方は11月20日(水)[教堂必着]までにお申し込みください)

※「帰敬式受式願(内願用)は法名の内願(自ら法名をつける)を希望する場合のみご提出ください。

⑦ その他 ○体調不良等で受式が出来なくなった場合は、冥加金は返金致しますが、事務費につきましては、返金いたしませんので、予めご了承ください。

○車椅子で受式を希望される方、及び介助(付き添い)が必要な方は、必ず申込書にその旨をお書き添えください。

○受式者には教堂より後日案内状をお送りいたします。(1月上旬頃)

○帰敬式は受式者本人しか受けられません。(代理受式はできません)

都合により受式できなくなった場合は、必ず本願寺福岡教堂までご連絡ください。

教堂屋外駐車場廃止のお知らせ

教堂屋外駐車場について、教区内の方や教堂関係者の利便性の向上を計るうえから、2000(平成12)年3月1日から24年間、屋外駐車場契約をしております。しかしながら、駐車場賃料の高騰(年間約200万円)や実稼働率が低調であるうえ、無断駐車が頻繁に見受けられる現状であります。

つきましては、現状に鑑み2025

(令和7)年4月1日より契約駐車場を廃止いたします。

尚、教堂建物内駐車場14台は引き続きご利用いただけます。

教堂建物内駐車場は数に限りがありますため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※屋外駐車場利用期間

～2025(令和7)年3月31日
まではご利用いただけます。

※屋外駐車場廃止日時

2025(令和7)年4月1日
より廃止。



法語カレンダー等書籍短期委託業務廃止のお知らせ

下記の書籍につきまして、運送費の高騰による教堂の送料負担増等の理由から、
2024(令和6)年度より短期委託頒布業務を廃止いたします。

今後の発注につきましては、直接本願寺出版社へお問い合わせお願いいたします。

- ① 「法語カレンダー」 ② 「月々のことば」
- ③ 「心に響くことば」 ④ 「門信徒手帳」

門信徒手帳

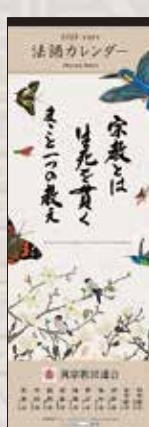
880円
(税込)

サイズ:
縦17×横8cm
透明カバー

4種類の柄から表紙を着せ替えできます

本願寺の法要・行事をスケジュールに掲載した門信徒必携の手帳。法話や仏事・作法に関するさまざまなお役立ち情報などが満載。法話:朝戸 臣統(本願寺派布教使)

本願寺出版社にて
販売中



法語
カレンダー

発行
真宗教団連合
出版広報委員会
150円
(税込)

本願寺出版社

0120-464-583

FAX 075-341-7753

〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)

<https://hongwanji-shuppan.com/>

発送梱包手数料別
(税込3,000円以上は無料)



法
一
話
言

「平等の慈悲は悪人に注がれる」

賞雅 曜哲（福岡組 正覚寺）

戦前のことです。行信教校に一人の学生がありました。教校には寮があり、学生達はそこに住みながら授業を受けるのですが、その学生は郵便が来ると自分が受け取りに行き、手紙と仕送りの為替を他の寮生に配りました。

この学生は、誰に郵便為替が届いているかを知っていますから、授業が終わつた後に届いた学生の部屋を訪ねるのです。そして「すまんけれど今月は足らんのや。金を貸してくれないか」とせびり、決して返さないわけです。

授業中に郵便が来ると、我先にと、その学生が受け取りに行きます。これには他の真面目な学生たちが困りました。いくら先生が素晴らしい講義をしていても気が散つてしまつ。彼より先に受け取らないと、と焦つてしまい授業に集中できません。

そこで学生たちは当時の校長先生であつた利井興隆先生のところに直訴に行きました。カイゼル髭を伸ばした大変厳しいお顔の先生でした。

「○○君は人のお金を巻き上げます。彼がいるばかりに先生の命懸けの講義を聞くことができません。彼を辞めさせてくれませんか？」

興隆先生が「あいつがいたらダメか？」と言うと学生たちは「ダメです。彼がいたら私たちは全く集中して講義が聞けません」「どうしてもダメか？」「ダメです！」

すると先生は「だつたら、お前らが辞めてくれ」と言われたのです。「なんでですか？ 私たちは仏様の教えを聞こうと思つてここに来たのに。あいつなんか聞く気も何もないじやないですか。なんで私たちが辞めないといけないんですか」

「君たちは仏様の教えを聞きたいんだろう？ だつたらどこに行つたつて聞ける。仏教の学校もお寺も沢山ある。でもな、あいつはここから離れたら仏様の話を聞かん。あいつが仏様の話を聞けるのはここにいる間だけや。だからすまんけれどお前らが辞めてくれ」

利井興隆先生の眼差しは落ちこぼれてゆくもの、排除されていく一番最低の学生に注がれていました。

阿弥陀様のお救いは百人中九十九人が助かれば良い、というものではありません。最後の一人、皆に見捨てられるよう一番最低の者をこそ救いたいという願いが阿弥陀様のお慈悲でした。

仏様の悟りの眼から見たときに、仏様から最も遠く、最も救われ難い者はこの私でした。阿弥陀様が五劫の思惟、兆載永劫の修行をしなければならなかつたのは、無始以来迷い続けてきた、罪惡深重の私の姿があつたからでした。仏様のまなざしは私一人に注がれています。この私のために完成されたお救いの法が南無阿弥陀仏のお念仏でございました。